

事例紹介

長野県箕輪町立 みのわ 箕輪中学校



放課後ドリル学習で、基礎・基本の定着！

～ 放課後学習からはじまる家庭学習サイクル ～

箕輪中学校では、「基礎的・基本的な知識の定着」と「家庭での継続的な学習」を目的として、タブレットとeライブラリを利用した放課後ドリル学習を実施しています。

放課後 タブレットで放課後ドリル学習！

継続的な取り組みで学習習慣の定着！

放課後ドリル学習は、希望者を対象とした週1回30分の補充学習です。授業で学習した内容の確認やこれまでの復習だけでなく、**家庭での学習を継続的に行うためのきっかけづくりの時間**として位置づけられています。

放課後ドリル学習の続きを家庭でもできるように、eライブラリの「家庭学習サービス」を使って行われています。



自分のペースで、自分に合ったやり方で！

第1回目の放課後ドリル学習では、まず家庭学習サービスの使い方を覚えました。生徒は皆限られた時間の中で集中し、黙々と学習を進めていました。

2回目以降は、**生徒の学習方法に変化が見られる**ようになってきました。間違えた問題をノートに書き写す、解説教材・確認問題を見てからドリル問題を解く、分からないところは教科書で調べる、友だち同士で教え合うなど、**さまざまな学びの姿**が見られました。3年生の中には、全国高校入試の問題を書き写して解く生徒もいました。

生徒はそれぞれ自主的に、**自分のペースで、自分に合ったやり方を探りながら**学習を進めています。

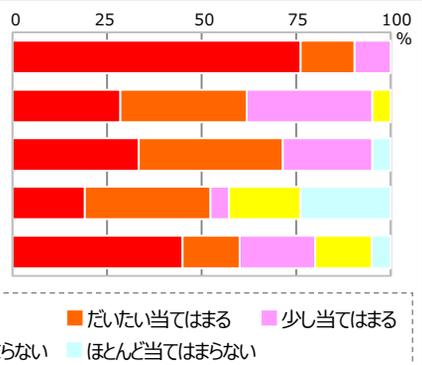


放課後学習の最終日には生徒にアンケートを取り、ふりかえりを行いました。半数以上の生徒が、**家庭でも継続してドリル学習に取り組んでいた**ことがわかります。

また、「**限られた時間の中で学習方法を工夫しながら勉強するようになった**」など、生徒自身の気づきや学習の変化も多く見られました。

【受講した生徒へのアンケート】

放課後学習を受講してよかった
ドリル学習を通して力がついたと思う
工夫しながら勉強するようになった
家庭でもドリル学習を活用した
次年度も開講すれば受講したい
(1・2年生のみ記入)



●●● 受講した生徒の声 (一部抜粋) ●●●

- ・自分が**苦手だったところなどが少しずつわかるようになってきたのでよかった。**
- ・**勉強のやり方もわかった**ので、やってよかったと思った。
- ・選択問題なのでわかりやすかったし、**間違えたところもわかるようになった。**工夫したところは**苦手教科を中心にバランスよく**やったところ。部活動と重なってしまっていて大変だったけど、受講してよかった。
- ・家のパソコンでやることができるので、ものすごくいいと思った。
- ・ドリル学習をやって、家でもやって、**テストの点がすごく良くなった**からこれからも続けたい。**たくさん問題を解くと力がつく**とわかった。

特別支援 授業の最後の15分間でドリル学習

特別支援学級では、**授業の最後の15分間**にタブレットとeライブラリを使って個々のペースで問題を解いていきました。小学校内容の問題も解くことができるので、**学年をさかのぼって苦手な単元を学習**することができます。

不正解の音が鳴ると、先生はすぐにその生徒のところへ行き、間違えた内容を確認して、ていねいに解説をしていました。普段なかなか集中できない生徒も、**eライブラリなら集中して問題に取り組むことができる**そうです。



ICT支援員 阿部 知之 先生のお話



ICT支援員 阿部 知之 先生

箕輪中学校では、ICT活用の三本の柱として「**情報を大きく見せる**」「**協働型・双方向型授業の充実**」「**基礎・基本の定着**」を掲げています。eライブラリは、そのうちの「**基礎・基本の定着**」に**最適な教材**です。小学校1年生から中学校3年生までの豊富なドリル教材がそろっており、学校だけでなく家庭でも利用できるため、特別支援学級や様々な理由でなかなか学校に来ることができない生徒など、**すべての生徒に学習の機会を保障**することができます。

今後は、授業での活用や放課後学習に加え、**生徒が工夫しながら勉強するためのツール**として、家庭学習サービスを活用していきたいと考えています。